

# 地域おこし協力隊

vol. 17

## 『横山陽子』の活動日記

松阪市に移住して1年半がたち、2回目の冬を過ごしました。

我が家は古民家で、冬はとても寒いです。一番つらかったのは、お風呂です。お風呂場は屋根があるのですが、外にあり脱衣所は歯を食いしばらなくてはいけないくらい極寒です。いろんな人にこの話をすると、「薪でお風呂を沸かすと体が芯から温まって全然違うから、ぜひ薪でお風呂を沸かしてみて」と勧められました。

我が家のお風呂は、薪でもお風呂が沸かせます。これはやってみたいと思い、2回目の冬に主人が、煙突の掃除をして、薪でお風呂を沸かしました。ずっと使っていなかったのに、なかなか薪に火がつかなくて大変そうでした。ようやく火がつき、良いお湯加減になったのが2時間後でしたが、主人はとても楽しそうでした。その1番湯、私に譲ってくれ



るとのこと。あれまあ、いいのかしらと遠慮なく入りました。そのお湯は、とても気持ち

が良くて浴室も温かく幸せでした。お風呂から上がった後も湯冷めしなくていつまでもぼかぼか。真冬は、水が冷たいから沸かすのに2時間はかかるのですね。大変な仕事ですがこれは病みつきます。その後も寒い日は毎日のように主人が薪でお風呂を沸かしてくれました。

最近は暖かくなってきたので、薪でお風呂を沸かす日が少なくなりました。そんなある日、私も薪でお風呂を沸かしてみたいと思い、薪割りから始めました。これが楽しく順調に薪に火がつきお湯も沸きました。どんど火と同じく、火を見ていると落ち着きました。

私が薪で沸かした1番湯、主人に入ってもらおうと思いましたが、「どうぞ」とあれまた？1番湯「ありがとうございます。」自分で沸かした1番湯も良いお湯加減で最高でした。今日は、薪割りしながらお湯を沸かして1番湯は主人に入ってもらおうと思います。

＼ 協力隊の日々の情報はこちらをチェック

松阪市地域おこし協力隊の

 Instagram



松阪市地域おこし協力隊の

 Facebook



※地域おこし協力隊・・・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。